

精華町長 木村 要 様

精華町監査委員 船 戸 明

同 森 田 喜 久

平成29年度精華町国民健康保険病院事業特別会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成29年度精華町国民健康保険病院事業特別会計決算を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

第1 審査の期間

平成30年6月25日から8月16日まで

第2 審査の手続

町長から提出された決算諸表が、事業内容を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計諸帳簿と関係証拠書類との照合やその他必要と認められる審査手続を実施した。また、地方公営企業法第3条における経済性が発揮されているか、町民の福祉の向上に寄与しているかについての把握を主眼として、関係職員から説明を聴取するなどにより審査を実施した。

第3 審査の結果

- 1 審査に付された決算諸表は、法令に従って作成され、その計数は正確であり、財政状態及び経営成績をおおむね適正に表示しているものと認める。
- 2 予算の執行、経理事務及び財産の管理など財務に関する事務の執行は、法令に従い、おおむね適正に処理されているものと認める。

第4 概況分析

当会計の決算の状況を概観する。指定管理者制度（利用料金制）を採用しているため、当会計に医業収益は計上されない。当年度医業費用合計額は41,541千円であり、前年度より359千円（0.9%）増加している。主な増減は、給与費の減少332千円、経費の増加594千円であり、後者は主に建築基準法に基づく定期検査報告委託料486千円によるものである。

一方、医業外収益には負担金交付金10,385千円や長期前受金戻入18,536千円等、合計29,737千円が計上され、前年度より1,785千円（6.4%）増加している。また、指定管理者である医療法人医仁会（以下、「指定管理者」）に例年どおり、平成29年6月に1億円を貸し付け、平成30年3月にその返済を受けている。利率は0.01%（前年度0.1%）であり、この貸付金により医業外収益に計上された受取利息は7,671円である。なお、後述するように、精華町国民健康保険病院の累積赤字が継続しており、当会計からの貸付期間以外の期間は指定管理者において金融機関から資金融通を受けている。

また、固定資産の实地棚卸を行った結果、医療機器など既に現存していない資産が明らかとなったことから特別損失として3,321千円の固定資産除却損を計上している。また、固定資産台帳の精査を行った結果、固定資産の帳簿価額と長期前受金収益化累計額の修正が必要となり、特別利益として12,245千円を計上している。

これらの結果、当年度純損失は2,881千円となり、前年度の純損失13,231千円より損失額は減少している。

第5 補足意見

1 固定資産の管理について

当年度において固定資産の实地棚卸及び固定資産台帳の精査を行い、前述のとおり、特別損失や特別利益が計上されている。

今後、通常業務内での固定資産廃棄を除き、こうした特別損益項目が生じる事態が発生することを防止するため、常日頃から固定資産台帳の情報を更新し会計数字との整合性を確認するとともに、年度内に少なくとも1度の固定資産实地棚卸を実施することが望ましい。

2 ソフトウェアについて

現在、病院会計専用ソフトを使用しており、貸借対照表には「ソフトウェア」として1,308千円が計上されている。

ただ、利用料金制を採用しているため、医業収益はすべて指定管理者で計上され、当会計に計上されることはない。当会計には、医業費用（給与、経費、減価償却費等）と医業外収益（負担金交付金、長期前受金戻入等）、医業外費用（一時借入金利息）が計上されるのみであり、総取引金額を医業費用と考えると、年間41,541千円となっている。

病院会計ソフトのために年間保守料311千円がかかっているが、規模・運営形態を考慮すれば専用ソフトを使う必要性は乏しいと思われ、継続して使用していくかどうか、検討することが望ましい。

3 指定管理者による精華町国民健康保険病院の運営状況について

指定管理者による精華町国民健康保険病院の運営状況を概観する。

病床利用率は95.6%（前年度95.5%）と高い水準を維持している。また、患者数も入院17,447人（前年度17,426人）、外来37,540人（前年度35,685人）と増加しているが、患者一人の一日あたりの診療収入は入院26,456円（前年度25,894円）、外来8,584円（前年度8,947円）となっている。外来患者数のうち、昨年度と比較して最も減少しているのは外科の1,888人（前年度2,112人）、最も増加しているのは整形外科の6,093人（前年度4,708人）である。これらの結果、収益面では、入院が461,577千円（前年度451,237千円）、外来が322,249千円（前年度319,283千円）、訪問リハビリなどのその他が44,128千円（前年度39,199千円）となっている。参考までに、平成18年度、平成23年度及び当年度の患者数は以下のとおりである。

（単位：人）

	平成29年度	平成23年度	平成18年度
入院患者数	17,447	17,283	8,297
外来患者数	37,540	27,952	25,815
合計	54,987	45,235	34,112

年度末現在の職員数をみると、医師6名は前年度と変わらず、看護師28名（前年度27名）も含めた職員数は74名（前年度70名）となっている。また、非常勤職員数は医師22名（前年度19名）、看護師17名（前年度16名）など、合計57名（前年度57名）となっている。年度をとおして職員数が増加しており、また退職者の増加（前年度5名、当年度10名）による退職給与金の増加もあり、医業費用に含まれる給与費は604,818千円となり、前年度の583,901千

円から20,917千円（3.6%）増加している。

以上の結果、当年度の医業損失は2,416千円（前年度3,748千円）、当年度純損失は1,127千円（前年度2,321千円）となっている。主な数字の5年推移を以下に掲げる。このところ、医業収益の伸び悩みと給与費負担の増加により損失計上が続いている。また、その結果として累積赤字も微増の状況である。引き続き、その運営状況を検証していく必要がある。

（単位：人、千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
入院患者数	17,447	17,426	17,063	17,365	17,342
外来患者数	37,540	35,685	35,821	35,608	31,156
医業収益	827,954	809,719	835,878	839,272	787,410
医業費用	830,370	813,467	803,468	801,958	756,131
医業利益	△2,416	△3,748	32,410	37,314	31,279
純利益	△1,127	△2,321	36,338	39,206	31,763
累積赤字	△146,426	△145,299	△142,977	△179,316	△218,522

第6 決算の概要

1 予算執行状況について

(1) 収益的収入及び支出について

収益的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

ア 収益的収入

（単位：千円、%）

区 分	予算額	決算額	対予算額増減	収入率
病院事業収益	29,936	41,982	12,046	140.2
医業外収益	29,936	29,737	△199	99.3
特別利益	0	12,245	12,245	—

収益的収入の決算額は41,982千円で、予算額29,936千円に対し、12,046千円の増、収入率は140.2%となっている。

イ 収益的支出

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
病院事業費用	43,081	44,863	0	△ 1,782	104.1
医業費用	42,980	41,541	0	1,439	96.7
医業外費用	101	1	0	100	0.7
特別損失	0	3,321	0	△ 3,321	—

収益的支出の決算額は44,863千円で、予算額43,081千円に対し、1,782千円の増、執行率は104.1%となっている。

ウ 収支の状況

収入決算額 41,982千円

支出決算額 44,863千円

であり、収支差引2,881千円の赤字となっている。

(2) 資本的収入及び支出について

資本的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

ア 資本的収入

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	対予算額増減	収入率
資本的収入	105,000	101,901	△ 3,099	97.0
他会計負担金	5,000	1,901	△ 3,099	38.0
貸付金償還金	100,000	100,000	0	100.0

資本的収入の決算額は101,901千円で、予算額105,000千円に対し、3,099千円の減、収入率は97.0%となっている。

貸付金償還金は、町の貸付けに対する指定管理者からの償還金である。

イ 資本的支出

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	105,000	101,901	0	3,099	97.0
建設改良費	5,000	1,901	0	3,099	38.0
貸付金	100,000	100,000	0	0	100.0

資本的支出の決算額は101,901千円（執行率97.0%）で、予算額105,000千円に対し、3,099千円の減となっている。

建設改良費の決算額は1,901千円で、病院厨房空調設備改修工事に係る

事業費である。

貸付金は、指定管理者に対する貸付金で、決算額は前年度と同額の100,000千円となっている。

ウ 収支の状況

収入決算額 101,901千円
支出決算額 101,901千円

であり、収支差引0円となっている。

2 経営成績等

(1) 損益の状況について

損益の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	
			金 額	率
医業収支				
医業収益	0	0	0	—
医業費用	41,541	41,183	359	0.9
医業利益	△ 41,541	△ 41,183	△ 359	—
医業外収支				
医業外収益	29,737	27,952	1,785	6.4
医業外費用	1	1	0	0.1
医業外利益	29,737	27,951	1,785	6.4
経常利益	△ 11,805	△ 13,231	1,426	—
特別損益	8,924	0	8,924	—
特別利益	12,245	0	12,245	—
特別損失	3,321	0	3,321	—
純利益	△ 2,881	△ 13,231	10,351	—

医業収支は41,541千円の損失で、前年度と比較して損失が359千円(0.9%)増加、医業外収支は29,737千円の利益で、前年度と比較して1,785千円(6.4%)増加している。この結果、経常損失は、11,805千円となり、前年度に比較して1,426千円損失が減少した。特別損益は8,924千円の利益であったことから、純損失は2,881千円となった。

ア 収益

収益の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	
			金 額	率
医 業 収 益	0	0	0	—
入院収益	0	0	0	—
外来収益	0	0	0	—
その他医業収益	0	0	0	—
医 業 外 収 益	29,737	27,952	1,785	6.4
受取利息及び配当金	8	77	△ 69	△ 90.0
国・府補助金	0	0	0	—
負担金交付金	10,385	9,953	432	4.3
長期前受金戻入	18,536	17,045	1,491	8.7
その他医業外収益	808	877	△ 69	△ 7.9
特別利益	12,245	0	12,245	—
過年度損益修正益	0	0	0	—
その他特別利益	12,245	0	12,245	—
合 計	41,982	27,952	14,030	50.2

医業収益は、利用料金制により、指定管理者が診療費等を直接収入しているため発生せず、医業外収益は29,737千円で、負担金交付金が432千円増加、長期前受金戻入が1,491千円増加した等により、前年度と比較して1,785千円（6.4%）増加した。

特別利益は12,245千円で、固定資産の帳簿価額と長期前受金収益化累計額を修正したことによるものである。

総収益は41,982千円で、前年度の27,952千円と比較して、14,030千円（50.2%）の増加となっている。

イ 費用

費用の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	
			金 額	率
医 業 費 用	41,541	41,183	359	0.9
給与費	9,266	9,598	△ 332	△ 3.5
材料費	0	0	0	—
経費	1,951	1,357	594	43.7
減価償却費	30,148	30,148	0	0.0
資産減耗費	176	79	97	122.2
研究研修費	0	0	0	—
医 業 外 費 用	1	1	0	0.1
支払利息及び 企業債取扱諸費	1	1	0	0.1
雑支出	0	0	0	—
特別損失	3,321	0	3,321	—
過年度損益修正損	0	0	0	—
その他特別損失	3,321	0	3,321	—
合 計	44,863	41,184	3,679	8.9

医業費用は41,541千円で、経費の増加等により、前年度と比較して359千円(0.9%)増加した。医業外費用は1千円で、前年度と比較して微増(0.1%)している。特別損失は3,321千円で、固定資産除却損である。

総費用は44,863千円で、前年度の41,184千円と比較して3,679千円(8.9%)の増加となっている。

(2) 純利益額等の推移について

平成21年度以降の純利益(損失)額、入院・外来患者数、人件費と薬品費の各医業収益比等の推移及び医業収支及び純利益(損失)額の推移については、それぞれ次表に示すとおりである。

◎ 純利益（損失）額推移表

（単位：千円）

区別 年度	純利益（損失）額	未処分利益剰余金	他会計からの繰入金
21年度	△ 30,125	12,233	9,892
22年度	△ 35,466	△ 23,233	9,734
23年度	△ 24,452	△ 47,685	10,162
24年度	△ 26,288	△ 73,973	9,921
25年度	△ 26,677	△ 100,650	9,071
26年度	△ 14,662	256,106	9,638
27年度	△ 14,178	241,928	9,038
28年度	△ 13,231	228,696	9,953
29年度	△ 2,881	225,816	10,385

◎ 入院患者延数及び病床利用率推移表（参考）

区別 年度	許可病床数	患者延数	1日平均 患者数	病床利用率	備考
21年度	50床（18,250床）	15,250人	41.8人	83.6%	指定管理者 による運営
22年度	50床（18,250床）	16,758人	45.9人	91.8%	
23年度	50床（18,300床）	17,283人	47.2人	94.4%	
24年度	50床（18,250床）	17,278人	47.3人	94.7%	
25年度	50床（18,250床）	17,342人	47.5人	95.0%	
26年度	50床（18,250床）	17,365人	47.6人	95.2%	
27年度	50床（18,300床）	17,063人	46.6人	93.2%	
28年度	50床（18,250床）	17,426人	47.7人	95.5%	
29年度	50床（18,250床）	17,447人	47.8人	95.6%	

◎ 外来患者数推移表（参考）

（単位：人）

区別 年度	患者総数	1日平均	内科	外科	小児科	整形外科	リハビリ	皮膚科	歯科	透析	泌尿器科	備考
21年度	27,440	93	16,273	2,115	-	285	486	1,569	4,666	2,046	-	指定管理者 による 運営 ※平成25 年度以降 のリハビ リの患者 数は、整 形外科に おける患 者数の内 数です。
22年度	26,991	91	15,150	1,880	-	371	0	1,725	5,312	2,553	-	
23年度	27,952	94	14,923	2,065	-	499	0	1,750	5,871	2,844	-	
24年度	27,729	94	14,187	2,132	-	470	0	1,794	6,252	2,894	-	
25年度	31,156	106	14,194	2,389	-	2,308	(905)	1,998	6,912	3,355	-	
26年度	35,608	121	15,742	2,631	-	3,474	(1,327)	2,299	7,125	4,337	-	
27年度	35,821	121	14,779	2,053	-	4,344	(2,142)	2,390	7,682	4,183	390	
28年度	35,685	121	14,694	2,112	-	4,708	(2,161)	2,461	7,544	3,757	409	
29年度	37,540	125	14,571	1,888	-	6,093	(3,354)	2,681	7,946	3,835	526	

◎ 人件費、薬品費の対医業収益比（参考）

年度	区別 医業収益 (千円)	人件費		薬品費		人件費・薬品費計		備考
		金額(千円)	比率・%	金額(千円)	比率・%	金額(千円)	比率・%	
21年度	597,722	419,196	70.1	46,086	7.7	465,282	77.8	指定管理者による運営 (※金額は、町及び指定管理者におけるそれぞれの決算額を合算した数値とし、比率は、これら合算した金額に基づき算出した数値としています。)
22年度	667,996	480,299	71.9	49,174	7.4	529,473	79.3	
23年度	710,893	512,396	72.1	53,865	7.6	566,261	79.7	
24年度	733,859	505,967	68.9	52,865	7.2	558,832	76.1	
25年度	787,410	539,737	68.5	64,363	8.2	604,101	76.7	
26年度	839,272	564,777	67.3	60,919	7.3	625,696	74.6	
27年度	835,878	581,948	69.6	57,792	6.9	639,740	76.5	
28年度	809,719	593,499	73.3	57,937	7.2	651,437	80.5	
29年度	827,954	614,084	74.2	58,156	7.0	672,240	81.2	

◎ 医業収支と純利益（損失）額推移表（参考）

（単位：千円）

年度	区別 医業収益	医業費用	差引医業利益 (損失)	純利益(損失)	備考
21年度	597,722	647,467	△ 49,745	△ 39,512	指定管理者による運営 (※金額は、町及び指定管理者におけるそれぞれの決算額を合算した数値としています。)
22年度	667,996	719,356	△ 51,360	△ 35,149	
23年度	710,893	757,206	△ 46,313	△ 34,190	
24年度	733,859	744,289	△ 10,430	△ 430	
25年度	787,410	792,816	△ 5,406	5,087	
26年度	839,272	842,168	△ 2,896	24,544	
27年度	835,878	843,931	△ 8,053	22,160	
28年度	809,719	854,650	△ 44,931	△ 15,553	
29年度	827,954	871,912	△ 43,958	△ 4,007	